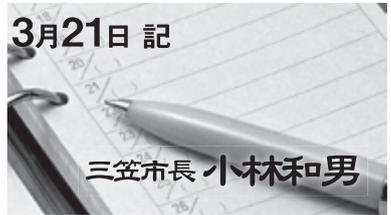


市長室

3月21日記



三笠市長 小林和男

新年度を迎え
未来を見据えた事業に
積極的に
取り組んでいきます

市民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年も過去にない厳しい寒さで大雪、この原稿を書いている今も、外では大粒の雪が深々と降っています。今年の春はいつ来るのだろうかかと心配しています。農作業もすでに始まっているのですが、この大雪のため、いまだにハウスなどが雪に埋まったままの所もあり、農家の人たちは大変苦労しております。

さて、今年は新たなまちづくりの出発の年と位置付け3月定例会で議決いただいた「第8次総合計画」に基づき、三笠のまちの未来を見据えた積極的な事業展開を進めて行く決意です。

特に「移住・定住政策と市内経済の活性化」であります。他の市町村から移住されて来られるかたがたや若年層の皆さんが、自然豊かなこの素晴らしいまちで、少しでも安心して子育てできる環境づくりや、未来を担う子供たちが確かな教育を受け、充実した教育環境の下で、学力が向上するよう、積極的に取り組んでまいります。

さらに、この4月8日は「新生市立三笠高等学校」が開校します。本校は、昨年度市民の皆さんに大変心配をお掛けしましたが、結果として定員40人をはるかに超える87人の応募があり、2.2倍と全道で一番高い競争率になりました。

このことは、単に競争率が高いというだけではなく、全道各地から来られる生徒の皆さんやその保護者の方に「やっぱり三笠高校に来てよかった」「入学させて本当によかった」と思われる学校にしなければなりません。これは教員にとどまらず、三笠市にも「良い学校にする責任がある」と突き付けたことを意味しているものと受け止めています。

のと受け止めています。

特にこの1年間はどうしたことに力点を置いた学校づくりに取り組んで行く決意であります。また、入学するほとんどの生徒さんは「三笠のまちは初めて」と聞いていますので、生徒さんの多くはこれからの三笠での生活に不安な気持ちで一杯だと思います。どうか市民の皆さんの温かいご支援を心よりお願いいたします。

ところで、懸案事項の1つに「幾春別川総合開発事業」があります。この事業は見直しの対象になってすでに3年になりますが、依然として国土交通省の動きが見えてきません。この事業はすでに予算ベースで半分を過ぎ、後はダムの嵩上げのみが残っているだけです。今年のように記録的な大雪がもたらす融雪時の大量の水が被害を起こすのではないかと心配しております。

今年は何んとしてもこの事業継続が再開されるよう、全力を挙げて取り組んでいきたいと考えております。

4月は旧暦で「卯月」といい、卯の花が咲く季節を意味しているといいますがとてもそれどころではありません。気象庁はこれからも雪が降ると予報を出しています。ウガイ、手洗などを行っていただき、健康管理に十分気を付けてください。

小中一貫コミュニティ・スクール便り①

【問合先】学校教育課学校教育係 ☎2197

教育ボランティアに登録をお願いします



地域に根差した小中一貫教育を推進するため、三笠小学校・三笠中学校の学校運営において、日常的に関わる地域との連携をより深め、地域全体

が学校の応援団として組織的に機能するよう、コミュニティ・スクールを4月から導入します。

この取り組みは、教育ボランティアが教員の補助として授業に入り、子供たちの学習支援を行い、児童生徒の

学力向上につなげていくことにあります。

市民の方で得意とする技能があれば三笠の子供たちに教えてあげてください。学校には市民の皆さんが活躍できる場がたくさんあります。詳しくはお問い合わせください。多数の応募をお待ちしています。

【登録用紙】三笠小学校、三笠中学校、教育委員会に設置しています。興味のある方、登録に協力いただける方は気軽にお問い合わせください。

【募集期間】第1次集約▷4月27日(金)